2019年12月



ながいともこ News

日本共産党北区議員団 〒114-8508 王子本町1-15-22

080-4429-6338 ご相談はお気軽に

羽田新飛行ルートは撤回を!

危険! 都心低空飛行



第2回都心低空飛行問題シンポジウム 2019.12.3 航空評論家 杉江 弘さんの公演、立憲民主党、日本共産党 社民党、れいわ新選組などの国会議員から連帯の挨拶やメッ セージも送られました。



第4定例会本会議で

羽田新飛行ルートの撤回を求めました。北区は、区上空飛行について、区民の皆様の安全確保が最低条件としながらも、区は、撤回を国によめる考えは無いとしました。

質問全文は http://kyoukita.jp/members/nagai/ まで

都心低空飛行問題シンポジウムで、航空評論家で元機長の杉江 弘さんの公演を聞いて、背筋が寒くなりました。この新ルートでは、羽田着陸時の降下角度を3.0から3.5度に引き上げます。この0.5度の違いが「高層ビルに突っ込んでいくような感覚になる」「機首を上げるタイミングも難しい」などパイロットの負担になります。航空会社側からも、①安全な進入着陸規則(スタビライズド・アプローチ)にも反している②降下率の習得が必要③操作が煩雑になるなど、問題が指摘されています。

住民側の不安、パイロット側の不安が解消されないなか、1月30日からは、実際に乗客を乗せた旅客機で試験運行を開始するとしています。

品川区議会では「容認できない」と決議し渋谷 区議会は「計画見直し」、港区議会では「別の選 択肢の検討を求める」意見書が可決されています また、住民団体のパレードが江東区、江戸川区で 開催されるなど、理解を得るどころか、新ルート 撤回を求める動きが広がっています。

北区議会では、11月29日区民生活委員会に「羽田新飛行ルートから区民の生活環境を守るよう求める意見書提出について」陳情審査がありました。日本共産党、新社会党は採択、自民党、公明党は不採択、立憲は継続で、結果、継続審査となりました。このシンポジウムには立憲民主党の国会議員も出席し、連帯の挨拶をしていましたが区議会では採択にならないようです。(ながい)

新規路線 検討開始! コミニティバス

12月11日に第1回目の「地域公共交通会議」が開かれました。学識経験者、シニアクラブの代表等やバス会社などの交通関連事業者等などで構成され、コミニティバスの新規路線導入などについて今後、具体的な検討に入ります。 2回目の会議は、来年3月の予定。

また、今後10年間の長期計画となる**※「北区基本計画2020」(案)**が発表となり。そのなかの「区内交通手段の確保」事業では、前期(r2~r6年度)1路線、後期(r7~11年度)1路線、計2路線のコミュニティバス新規路線の拡充計画案が示されました。(事業費は約5億)r4年度の試験運行を目指します。

※「北区基本計画2020案」区民説明会開催 赤羽地域 2020年1月16日 (木)18:30~赤羽会館 (小ホール)

詳しくは12月20日号の北区ニュースに掲載。 パブリックコメント(意見募集)募集もあります。

^{待機児童} 学童クラブ240人拡大

今年の4月時点で80人の待機児童が出ている学童クラブ。来年度に向けて240人分の定員を拡大します。72クラブ2980名を77クラブ3220名に拡大。王子第二小学校では40名定員を65名に増やすことから、人員を2名増やしての対応となります。

生活保護 ケースワーカー 有資格者配置を

私は、第4回定例会の本会議で、昨年の生活 保護費横領事件を契機に、再発防止と保護行政 にとどまらない、区政全般の信頼回復に全力を あげるよう求めました。ところが、答弁では、 生活保護行政の「要」であるケースワーカー9 8人中「有資格者」は70%と事件後、悪化し ていることがわかりました。「ケースワーカーは 社会福祉主事でなくてはならない」という社会 福祉法にてらせば、「違法」状態です。

有資格者増員の求めに対し、区は「資格認定 講座の受講勧奨を積極的に行う」にとどまりま した。今後、全庁的に有資格者をケースワーカー に人事上、配置するよう強く求めました。

大規模 水害時の 避難行動策定へ

北区は現在、荒川氾濫などの大規模な水害を 想定した、避難行動基本方針の策定作業を進め ています。8月には検討委員会が、第1回の専 門検討部会を開き避難行動計画策定の議論行っ ています。年度内に3回程度開かれる予定です。

北区は、平成29年度から災害時の避難行動 要支援者名簿や名簿に基づき避難行動個別計画 を作成しています。今年度の個別計画作成対象 者は1648名です。台風などの水害時に避難 支援が必要な方への具体策については、行政も 検討しているものの、私たち区民も一緒に考え ていかなければならない課題です。

ともコラム 今年もお世話になりました

いつも、「ともこニュース」をお読み頂きありがとうございました。今年は、台風の被害が深刻でした。地球規模で温暖化による気候変動が一層進んでいます。 16歳の環境活動家に刺激を受け、日本でも若者たちが環境問題に自分たちの事として向き合い始めていることは、とても心強です。しかし、その一方で、「ごまかし」「不誠実」が、まかり通る大人の集まりの国会は、子供たち、若者にどう映っているのでしょうか?国会を正常にし、国民本位の運営にするには、まさに大人の出番です。子供たち若者たちの真摯で素直な姿に励まされながら、私たち大人も頑張りましょう!

